

# 御園小だより

発行人 深川 昭久

## 深まる秋

秋が深まるころですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。朝夕と昼間の気温差で、体調を崩し、風邪症状等でつらい思いをしている方もおられることでしょう。また、新型コロナウイルス感染症も減少しているものの、収束の気配はなく、心配な日々が続きます。

学校では身体の不調を訴える児童には検温の上、保健室で休養をさせています。場合によってはお迎えをお願いする対応をしています。ご家庭でも、体調や生活リズムの管理等をよろしく願います。

## 修学旅行報告

10月13日（木）、14日（金）の1泊2日で6年生が修学旅行に行ってきましたので報告します。行き先は、三重県、和歌山県に広がる熊野・東紀州方面です。

B&G 海洋センターに7:10 集合し、7:30 バス2台で出発しました。6年生は3クラスなので、各クラスがそれぞれ2つに分かれて乗車しました。

最初の見学地は尾鷲市にある「熊野古道センター」でした。ひのきの間伐材を利用したバターナイフづくりの体験をした後、熊野古道の歴史等を紹介する展示を見学しました。



2か所目の見学地の「鬼ヶ城」では、大きな岩の風化具合やロケーションの雄大さに驚きました。また、打ち寄せる波の力強さに圧倒されている児童もいました



「鬼ヶ城」を出て、次は「道の駅 パーク七里御浜」で昼食、そして買い物。短い時間を有効に使って買い物をしている児童が多かったです。

次に向かったのが、「道の駅 紀宝町ウミガメ公園」でした。ここではカメにタッチしたり、エサやりの体験をしたりしました。



そして、1日目最後の見学地「那智の滝」、  
「那智大社」に向かいました。滝も大社も階段



数が多くて歩くのが大変でしたが、児童は弱音を言うことはほとんどなく元気でした。

宿泊先は、和歌山県那智勝浦町の「ホテル浦島」でした。

ホテルにはバスに乗ったまま行くことができず、船に乗り換えて向かいました。そして、ホテルで、全国旅行支援の3000円分のクーポン券を受け取りました。



2日目は晴天で、天気への心配はありませんでした。

「太地町立くじらの博物館」ではイルカショー、クジラショーを観ました。ここでは前日、ホテルで配られたクーポン券を使い切ろうと買い物に時間がかかりました。

その後、「潮岬」で昼食、「南紀熊野ジオパーク」見学をして帰路につきました。



【10月の授業より】~~~~~

《5年理科「流れる水のはたらき」(10月26日)》

運動場の校舎側に、通称「赤土山」と呼んでいる区画があります。ここで、5年の理科の実験がありました。

単元は「流れる水のはたらき」です。山や川に模して土を整え、その山上から水を流します。水が流れて川ができます。その時、水が川岸を削っていく様子や土の堆積の様子などから、水のはたす役割を学習しました。



《1年 校舎屋上へ(10月26日)》

1年生が校舎屋上に上りました。緊急事態の場合、校舎屋上に避難しなくてはならない状況になるかもしれません。しかし、高いところであり外の緊急避難用の階段を使用するということもあり、1年生にとっては怖さのため、上れないという事態も想定されます。そこで、高さや緊急避難用の階段に慣れるために上ってみました。心配をしていましたが、全員ができ安心しました。



~~~~~

◎引き渡し訓練(10月28日)について

地震に関する情報(臨時)が発令された時、または暴風警報が発令された時、学校待機している児童を速やかに保護者の方に引き渡すための訓練をしました。保護者の方の協力をいただき訓練ができました。ありがとうございました。

◎児童の下校時刻について

11月1日(火)から「冬時間」となり、学校から完全下校する時刻が16:00となります。日暮れが早くなり安全面でも今まで以上に注意が必要です。ご家庭でもしっかりと話をしてください。